

平成21年7月16日

モンゴルとの原子力分野に関する協力文書への署名について

本日、石田資源エネルギー庁長官とモンゴル国エンフバト原子力エネルギー庁長官が、両国間の原子力分野に関する協力文書に署名いたしましたので、お知らせいたします。

1. 国際機関（OECD/NEA,IAEA）の報告によると、モンゴルのウランの埋蔵量は62,000トン（世界第15位）と推定されており、今後のウラン鉱山の開発が期待されます。
2. 今般、モンゴル国バヤル首相の来日に際し、両国の関心事項である原子力分野について、人材育成、ウラン資源開発、投資環境整備等に係る協力を内容とする文書に、石田資源エネルギー庁長官とエンフバト原子力エネルギー庁長官が署名しました。

【添付資料】原子力分野に関する協力文書（Memorandum of Cooperation）の概要

（本発表資料のお問い合わせ先）

資源エネルギー庁原子力立地・核燃料サイクル産業課長 森本

担当者：小野

電話：03-3501-1511（内線 4791～4796）

03-3501-6291（直通）

原子力分野に関する協力文書（Memorandum of Cooperation）の概要

○文書名

日本国経済産業省資源エネルギー庁とモンゴル国原子力エネルギー
庁との原子力エネルギー及びウラン資源に関する協力覚書

(Memorandum of Cooperation between the Agency for Natural
Resources and Energy of the Ministry of Economy, Trade and
Industry of Japan and the Nuclear Energy Agency, the Regulatory
Agency of the Government of Mongolia for the Development of
Cooperation on Nuclear Energy and Uranium Resources)

○署名者

日 本：石田 徹 経済産業省資源エネルギー庁長官

モンゴル：ソドノム エンフバト 原子力エネルギー庁長官

○協力の内容

- ・ 原子力分野における人材育成
- ・ ウラン資源開発に係るモンゴル国内投資環境の改善
- ・ 情報交換、相互訪問 等

○本文書に基づく協力の期間

署名から3年間（両者の合意により延長可能）

※モンゴル国原子力エネルギー庁は、首相直属の機関で、原子力の利用・規制
を担当する官庁。